

20番 岡元 浩一 議員

1 「基地の街」鹿屋市の将来像について

- (1) 市長は米国空軍無人偵察機MQ－9の一時展開について「計画受入れは、やむを得ない」と表明し、説明の中で「基地の街の宿命」と話されたが、専守防衛の一翼を担う海上自衛隊鹿屋航空基地との友好関係維持の方針及び「米国軍と基地の街の将来像」について示されたい。
- (2) 議会が容認決議の中で訴えた「日米地位協定の見直し」について、市長はどう考えるか具体的に示されたい。

2 都市計画税について

- (1) 都市計画税について私は一般質問及び各委員会等、あらゆる場面で「使途の整合性及び公平な納税基準」について質問・提言している。直近5年間の歳入額と使途(都市計画税にて実施した事業)及び問題点について示されたい。
- (2) 都市計画税に関しては過去の質問で税の公平性に鑑み「税としての整理をし、総合的に検討する」と答弁された現状と課題を示されたい。

3 公益社団法人「鹿屋市シルバー人材センター」との関係構築について

- (1) 公益社団法人「鹿屋市シルバー人材センター」では昨年末に任期途中の理事長が突然、辞任され、本年5月の総会で後任に元市職員幹部が就いた。内部分裂は会員からの信頼を失い有能な理事等の退任もみた。これまでの経緯と現状について市長の見解を求める。
また、当該法人には毎年、市の補助金が出されているが、事業運営に関しても強い助言等が必要と考えるが今後の関係構築について示されたい。

20番 岡元 浩一 議員

4 女性幹部職員の育成について

- (1) 男女雇用機会均等法及び女性活躍推進法等を追い風に、官民ともに女性の活躍は目覚ましいが、市職員における女性幹部の登用を促す取組状況を示されたい。
- (2) 組織内の幹部に女性を登用する際、男性補佐の力量が大切と考えるが、人事案件を検討するときに重要事項と捉えられないか見解を示されたい。